

地域材活用の プロセスを学ぶ

製材所搬入
～製材
～木材加工
～生活で利用



伐採した丸太を、地域の向山製材さんに持ち込み製材していただきました。
ここでは丸太の傷を目立たなくする製材方法の説明を受けています。より効率的に地域材を活用するためです。



栈積みしある程度乾燥後、アカマツ、ヒノキ、スギ材で椅子を製作。半乾燥でも材が狂わない設計をしてもらいました。



地域でがんばっている木工職人、中村さんに設計・指導していただきました。
椅子を使いながら経年変化を観察し、材の特性をこれから各自が学んでいきます。
この椅子をつくるための材を得るにはどんな森を育てればいいのか思いを馳せて。